

第1回 大野市脱炭素推進本部会議 議事要旨

日時：令和3年7月21日(水)
11時00分～11時50分
場所：大野市役所 2階 大会議室

1 開会

事務局より開会

2 本部長あいさつ

・国は、2050年度脱炭素社会の実現に向けたロードマップ及びそれを実現するための関係機関の在り方等について検討し、議論を取りまとめるため「国・地方脱炭素会議」を開催した。大野市長も委員として参加した。また、大野市は本年3月25日に県内4番目にゼロカーボンシティを宣言している。進めるためには、スピード感を持った取り組みに加えて、長期的な方針が必要。また、市の環境部門だけでなく全部署に関係がある。全庁が連携して進めてもらいたい。

3 推進会議の趣旨説明

○本部設置要綱について・・・資料1

(説明概要)

- ・ゼロカーボンシティの実現に向けて、本市の脱炭素に関する施策を総合的かつ一体的に推進していく機関。
- ・脱炭素の取り組みは、担当部局のみで出来るものではない。全庁体制で実行に移していきたい。

4 議事

(1) 国の取り組み方針・・・資料2

(説明概要)

- ・2050年脱炭素社会実現を宣言し、経済と環境を成長戦略の柱に位置付けるなど取組を加速化。
- ・「地域脱炭素ロードマップ」を策定、今後の5年間に政策を総動員し、人材・情報・資金を積極支援する。
- ・2030年度までに少なくとも100か所の「脱炭素先行地域」をつくる。

(2) 大野市ゼロカーボンシティの実現を目指して・・・資料3

(説明概要)

- ・これまでの取り組み「ごみ処理エネルギー等の有効利用」「未利用系木質バイオマス活用にCO₂吸収減対策」「市公共施設での急速充電気及び太陽光発電設部の設置状況」等を報告。
- ・ゼロカーボンシティ実現のためには、脱炭素関連の施策・取り組みの推進強化及び長期的なビジョンの策定が必要。
- ・今後、各省庁が脱炭素の取り組みの重点が進む予想。全庁体制の下、脱炭素の施策・取り組みの推進強化が必要。
- ・令和3年度の各部の取り組み「公共施設の設備更新時の脱炭素化」「プラスチックごみの削減」「脱炭素型エコライフの普及啓発」「食品ロスの削減」等を報告。

(3) ゼロカーボンシティ実現プロジェクトチームの報告・・・資料4

(説明概要)

- ・ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを加速させるため設置し、すぐに実行できる全庁的な取り組みの提案や新たな政策の提案をする。

(4) その他

○事務連絡(事務局)

- ・今後については、幹事会やプロジェクトチームで具体的な調査・研究や取り組みを進め、適宜、推進本部に諮り、ご議論をいただき、全庁的に意思統一を図りながら、ゼロカーボンシティの実現に向け、施策を進めていきたい。
- ・ペーパーレス化の観点から、今後の開催通知や情報共有等については、出来る限り、メールや電子データで行いたい。

(意見、質疑)

委員

- ・2050年の大野市を支える主役となる世代は、今の小中学生やこれからの子供たち。教育においても脱炭素社会を担う人材を育成していく面で貢献していきたい。
- ・将来の世代のためにも、希望溢れる未来を目指して取り組みを進めていきたい。

5 閉会(副本部長)

- ・脱炭素は世界的な潮流、国も取り組みを加速化している。
- ・関係省庁において、脱炭素関連施策を取り組みの重点においてくる見込み。
- ・2050年のゼロカーボンシティの実現を果たすためにも、全庁的に取り組んでいく必要がある。
- ・情報共有、意識統一が図られた。